

石巻からの手紙

ポール・ロシター  
(江田孝臣 訳)

見わたす限り、瓦礫は除去されている  
残っている建物はここにひとつ、あそこにひとつ

空っぽの窓枠のうつろな視線

壁のない台所、蛍光灯の笠が風に揺れる

めちやめちやに壊れた工場の機械

押し流された橋桁、ぶら下がる電線

内陸に五十メートル流され、横倒しになった漁船

ぼくらはクレーンが除去できなかったこまごましたものを  
片づける

ビデオ(「たそがれ清兵衛」)

カセットテープ(判読不能)

CDの破片(ピンク、判読不能)

表札(中村)

錆びついた包丁

青い瀬戸物のかげら

小学生が使うプラスチックの定規

ケチャップのチューブ

ごみを残らず片づけたら、

白い消毒剤をまく。飼い主を失った猫たちが  
歩き回り、前肢をなめる。

体によくない。

津波はあそこの高校の裏山で

やっと止まったんだ

翌日最初の仕事は

枝に引っ掛かった遺体をおろすことだったよ

郵便局も流されたが

丈夫な一本足の赤いポストは残った――  
穴だらけの道を車が近づいて来て  
止まる。窓ガラスがおりて  
身を乗り出した女性が、手紙を投函する

二〇一一年十二月十七、十八日

"A Letter from Ishinomaki" by Paul Rossiter

ポール・ロシター (Paul Rossiter)

一九四七年、イギリスのコーンウォールに生れる。一九八一年より東京在住。二〇一二年まで東大駒場で教える。二〇一三年から英語詩の出版を専門とする Isobar Press の運営に専念。Isobar Press は現在までに十一人の著者にちる十四冊の本を出版している。"A Letter from Ishinomaki"は *From the Japanese* (Isobar, 2013) 中の一篇。最新の詩集は *World Without* (Isobar, 2015)。